

第5学年「総合的な学習の時間」

指導者 新納 景子

単元名

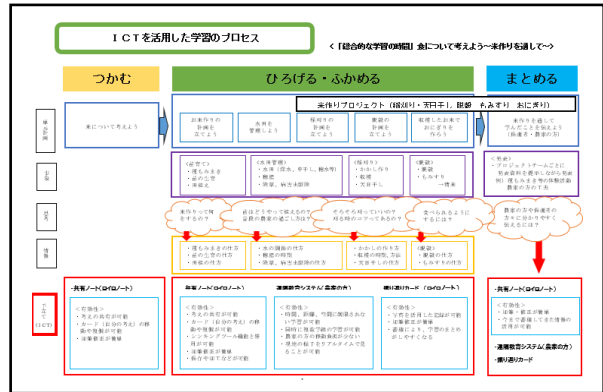
食について考えよう
～米作りを通して～

内容のまとめり 「食」(全 25 時間)

探究課題

食をめぐる問題とそれにかかわる地域の農業や生産者

本単元は、全体計画に定めた探究課題「地域の自然や環境と、その保全に関わる人々の思いや願い」を踏まえて構想した単元である。地域の環境を見つめ食(米)の保全に向けて、自分たちの力でできることに取り組み、自分と地域の環境や人々との関わりについて考え、行動できるようにすることをねらったものである。



1 単元の目標

金池小校区について調べたり、米作りの体験活動に協働して取り組んだりすることを通して、自分たちにできることについて考え、米を生産する人々の苦労や願いを理解するとともに、食文化を支える一人として意識しながら行動したり生活したりできるようにする。

2 単元について

(1) 教材観

米は私たち日本人の主食であり、児童にとっても身近な食べ物である。しかし、金池小校区は、大分市の中心部に位置しており、商業施設が多く、田畑がほとんどない。本単元で、本校の中庭にある田んぼで、米作りを実際に体験することで、児童は、農家の方の苦労や工夫に気づいたり、田んぼがもたらす自然の恵みを肌で感じることであったりするであろう。米作りを通し、農家の方との交流をする中で、それまでの米作りや米自体への意識が変わり、自分の考えが深まっていくと考える。そして、児童は、この学習を通して得た知識や気付き、これからの自分たちの行動や生活について、農家の方や保護者の方々に伝えたいという思いをもつことができるであろう。

(2) 児童観

児童はこれまでの総合的な学習の時間で、金池の歴史について学習を行い、金池小校区の移り変わりに興味をもち様々な視点から金池小学校を取り巻く変化について学んできた。

その中で、田畑で野菜や米を作ってきた昔の様子とビルや商業施設が立ち並ぶ現在の様子を見比べたことで、自分達にとって農業が身近ではなくなりつつあるという状況に気づき始めている。しかし、日常生活の中では、そうした地域性や食のつながりについて考えることは少なく、どんな思いや苦勞をして農家の方々が農業に携わっているのかについては気付いていないと思われる。また、前学年までに、総合的な学習の時間で探究的な学びとして、情報収集、整理分析、目的や意図に応じた表現等の過程を行ってきたが、表現の場面での相手を意識したICT活用した発表については経験が少ない。

(3) 指導観

指導に当たっては、学校と農家の田や稲の様子などを見比べるために、定期的に農家の方と交流しながら進めていく。田んぼや稲の様子を見比べることで、児童は自分たちの米作りについて深く考えたり、農家の方の工夫や思いを知ったりすることができる。このことを基に、児童は、保護者や農家の方などに、米作りを通して米について考え、調べたことや自分たちの思いを伝えたいという気持ちをもつことができると考える。

3 単元の評価規準

観点	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①米に関わる、生産者、消費者、環境のつながりを理解している。 ②地域の未来像と自分たちの生活との関わりが分かる。 ③情報を比較・分類・関連付けるなど、探求の過程に応じた技能を身に付けている。	①相手意識や目的意識をもって、話し合っている。 ②自分の考えの理由や根拠を明確にしながら他者と交流し、課題を追及している。 ③自分の考えを、表現方法の特徴や表現の目的に合わせて分かりやすくまとめている。	①課題の解決に向けて、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ②意欲的に他者と協力して活動している。 ③自分ごととして、自分達ができることを考えたり、発信したりしている。

令和4年5月12日（木）

授業場所 5年各教室

授業者 新納 景子

1 単元名 食について考えよう～米作りを通して～

2 本時案

(1) 題材 米について考えよう

(2) ねらい 米について知りたいことを、ロイロノートの共有ノートを使って考えを共有し、関連付け整理することによって、まとめることができるようにする。

(3) 展開（1／25）

学習活動	時	指導上の留意点	評価◎備考※
1. 本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	5	○本時のめあてを確認する。 めあて 米について考えよう。 ・米について自分たちが考えたことを発表させる。	
2. 調べたいことを考える。	10	課題 米について詳しくなるには、どんなことを調べればよいのだろうか？ ○米について自分たちが調べたいことを考え、話し合わせる。 ・ロイロノートの共有ノートの使い方等を確認させる。 ・ロイロノートを使って、自分の考えを明確にさせる。 〈予想される考え〉 ・米の育ち方について。 ・米の種類、品名。 ・米は、どのように流通しているのか。 ・農家の方の苦労や工夫について。 など	手立て① (共有ノート) ◎自分の考えを明確にし、整理することができる。(発表・ロイロノート)
3. 考えを分類ごとに整理する。	20	○班ごとに考えを分類し、整理させる。 ・「育て方」「種類」「味」「地域」などに分類させ、どんなことに興味をもっているのか、整理させる。 ・グループごとに意見を出し合い、考えを共有させる。 まとめ 米の育て方や種類、農家の方の工夫や苦労などについて調べることで、米について詳しく知ることができる。	
4. まとめる。振り返り。	10	○本時の振り返りをさせる。 ・ロイロノートに振り返りシートを作成させ、本時の振り返りをさせる。	手立て② (振り返りカード)

3 学習の様子

○自分の考えをもつ場面



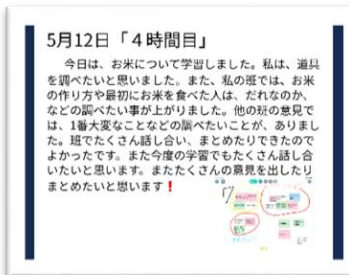
個人シートに自分の考えをタイピングする様子

○考えを共有する場面



話し合いながら、分類整理している様子

○まとめの場面



班ごとに意見交流・振り返りをする様子



担任に提出・振り返りを共有

手立て①(共有ノート)

- ・互いの考えの共有。
- ・考えの分類分け。
- ・考えの交流。

<有効>

- ・カードを増やし、自分の考えをたくさん提示することができる。
- ・自分たちの考えの見比べが簡単にできる。
- ・カードが動かせるので、整理しやすい。
- ・カードに写真が挿入できる。
- ・配色を考え、自分の考えが分かりやすくなるように工夫できる。
- ・班ごとの発表では、自分たちの考えが大きく表示されるため、各班の考えが見やすく、相手に分かりやすく伝えることができる。

○教師が移動せずに、全員の考えを確認できる。

手立て②(振り返りシート)

- ・考えの分類分け。
- ・振り返りカードの提出及び共有。

<有効>

- ・子ども同士が、お互いの振り返りを見合うことができる。
- ・写真や色を使うことで、自分の気持ちを自由に書くことができる。

○振り返りカードを提出させることで、児童がどんな振り返りをしているのか、教師が把握しやすい。

ICTを活用した授業指導案（共有ノート②）

令和4年6月20・27日（月・火）

授業場所 5年各教室

授業者 新納 景子

1 単元名 食について考えよう～米作りを通して～

2 本時案

(1) 題材名 稲の育て方について考えよう

(2) ねらい 植えた後の苗の育て方について、ロイロノートの共有ノートを使って自分が調べたことを共有し、関連付け整理することによって、まとめることができるようにする。

(3) 展開（2時間）（6, 7 / 25）

学習活動	時	指導上の留意点	評価◎備考※
1. 本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	10	○本時のめあてを確認する。 めあて 稲の育て方を調べよう。 ・稲の育て方について調べることを確認させる。	
2. 苗の育て方について調べる。	35	課題 おいしいお米ができるように育てるためには、どんなことに気を付けるとよいのだろうか。 ○稲の育て方について、どのように調べるのか確認し、調べさせる。 ・自分で調べ方を選択させる。(本、資料、ネット検索など) ・ロイロノートの共有ノートの使い方等を確認させる。 ・共有シート上で自分が調べたいグループにそれぞれ分かれ、自分の調べたことを書き込んだり添付したりさせる。 〈予想される考え〉 ・水の調節（水田）について ・肥料のタイミングについて ・害虫被害について など	手立て① (インターネット検索)
3. 考えを分類ごとに整理する。	35	○グループごとに調べたことを分類し、整理させる。 ・グループごとに意見を出し合い、考えを共有させる。 まとめ 稲の成長に合わせ、水の調節や害虫被害などに気を付けて育てていくとよい。観察をこまめに行っていくことが大切である。	手立て② (共有ノート)
4. まとめる。振り返り。	10	○本時の振り返りをさせる。 ・振り返りカードを作成させ、本時の振り返りをさせる。	手立て③ (振り返りカード)

3 学習の様子

○自分のテーマに沿って調べ学習をする場面



手立て①(インターネット検索)

- ・テーマに沿って情報を収集・整理。
- ・資料箱のマイフォルダに保存。

<有効>

- ・調べたこと(写真や表など)を、収集・整理することができる。
- ・ネット検索と本の併用によって、自分のテーマに合った情報が集まりやすくなる。
- ・スクリーンショット機能や写真機能を使うことで、情報が自分の共有ノートに保存でき、情報の蓄積できる。
- ・資料箱を活用することで、データの共有ができる。

○グループごとに集まり、調べたことを共有する場面



話し合いながら、整理してまとめている様子

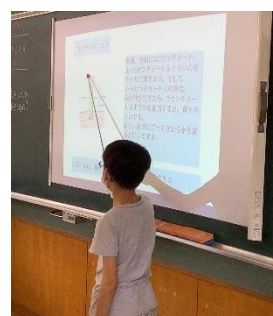
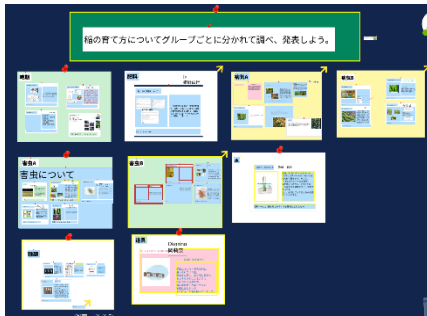
手立て②(共有ノート)

- ・互いの調べたことを共有。
- ・グループのカード上で、調べたことを整理。

<有効>

- ・お互いが調べたことの見比べができ、整理しやすい。
 - ・調べたことが分かりやすくなるよう、カード配置等の工夫ができる。
 - ・テーマごとの発表では、カードが大きく表示でき、自分達の調べたことが見やすく、相手に伝わりやすい。
- 教師が移動せずに、全員の考えを確認できる。

○発表の場面



グループごとに発表をする様子

○振り返りの場面



担任に提出・振り返りを共有

手立て③(振り返りシート)

- ・振り返りカードの提出及び振り返りの共有。
- <有効>**
- ・振り返りカードを提出させ、どんな振り返りをしているのか把握しやすい。
 - ・子ども同士が、お互いの振り返りを見合うことができる。
 - ・写真や配色、文章の工夫をすることで、自分の考えを伝わりやすく表現することができる。

令和4年6月10日（金）

授業場所 中庭

授業者 新納 景子

1 単元名 食について考えよう～米作りを通して～

2 本時案

(1) 題材名 育てた苗を田んぼに植えよう

(2) ねらい 自分たちが育てた苗の植え方を、調べた情報や農家の方の助言をもとに工夫しながら植えることによって、理解することができるようにする。

(3) 展開（45分）（4／25）

学習活動	時	指導上の留意点	評価◎備考※
1. 本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	5	○本時のめあてを確認する。 めあて 育てた苗を田んぼに植えよう。 ・農家の方を紹介する。	
2. 苗の植え方を考える。	10	課題 どのように苗を植えれば元気に育つのかな？ ○苗の植え方を考え、話し合わせる。 ・自分たちが調べた苗の植え方を発表させる。 〈予想される考え〉 ・2、3本のまとまりを作って植える。 ・縦と横をきちんと揃えて植えていく。 ・植える深さを一緒にする。 ・植える時の苗の持ち方に気を付ける。 など ・農家の方からの助言をいただく。	
3. 苗を植える。	15	○順番に、田植えをさせる。 ・役割分担（紐を持つ役など）をし、苗を植えさせる。 ・一列ずつ横に並び、間隔をあけながら植えさせる。 まとめ 苗を植える時は、苗の持ち方（鉛筆持ち）や苗を植える深さ（2～3cm）に気をつけて植えると元気に育つことができる	手立て① (カメラ機能)
4. まとめる。振り返り。	10	○本時の振り返りさせる。(振り返りカード) ・自分たちの今後の米作りについて考えさせる。	手立て② (振り返りカード)

◎工夫した苗の植え方を考えている（行動・振り返り）

3 学習の流れ



事前準備

授業前日に、もう一度代掻きを行った。
 水は、植える深さが分かるように土が見えるか見えないかぐらいがよい。



農家の方の紹介・田植えの説明

苗の植え方について、説明を行った。
 事前に子どもたちが調べて事についても、意見交流を行った。



田植え

実際に、自分たちで交代しながら、苗を植える時のポイントを意識しながら、田植えを行った。

手立て① (カメラ機能)

写真や動画の撮影

<有効>

- ・活動写真を沢山撮影することで、自分の使いたい写真を自由に選択することができる。(研修生撮影)



振り返り

田植えの活動を振り返って、感想や疑問に思ったことなどをまとめる。

手立て②(振り返りカード)

ロイロノート

- ・撮影した写真の挿入。
- ・振り返りを担任に提出
- ・振り返りの共有

6月10日 田植えをしよう
 田植えをして思う事は、いもと先生が小さい頃、機械が無かったらこうやって、私達みたいにしてると思うと、たいへんだなと思いました。
 最後、多くの稲が倒れていたで大丈夫かなと思ってたけど大丈夫といわれて安心しました。



6月10日(金)
 田植えをしよう

今日は田植えをしました。
 土が、ふによふによで、気持ちよかったです。
 苗を植えるのが、楽だと思っていたけれど、すこし難しかったです。
 金池小学校の田んぼは、小さいから少ししか植えないけれど、もっと大きい田んぼは、大変なんだろうなと思いました。



<有効>

- ・活動写真を資料箱に入れておくことで、児童が自由に選択して活用することができる。
 - ・互いの学習の振り返りを見ることができる。
- 教員に振り返りを提出させることで、評価がしやすい。

ICTを活用した授業指導案（遠隔システム①）

令和4年8月30日（火）

授業場所 5年各教室

授業者 各担任・新納 景子

1 単元名 食について考えよう～米作りを通して～

2 本時案

(1) 題材名 稲の成長を見比べよう

(2) ねらい 稲の育ち具合について、遠隔システム（Zoom）を使って自分たちの稲と農家の稲を見比べたり、稲について農家の方と意見交流したりすることによって、理解することができる。

(3) 展開（2時間）（9／25）

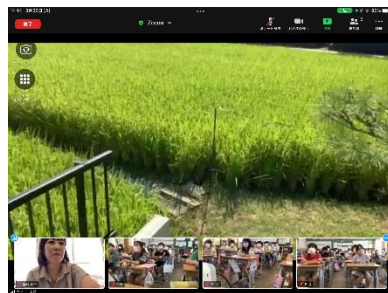
学習活動	時	指導上の留意点	評価◎備考※
1. 本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	10	○本時のめあてを確認する。 めあて 稲を観察しよう。	
2. 稲を観察して気付いたことを話し合う。	35	・稲がどのくらい成長したのか観察して分かったことを確認する。 課題 稲は、順調に成長しているのだろうか。 ○観察して疑問や不安に思ったことを考えさせる。 〈予想される考え〉 ・7月よりも稲が伸びているが、この成長の仕方で大丈夫かな。 ・稲の先が黄色くなっているけど、このままでいいのかな。 ・稲に食べられたあとがついているけど、害虫かな。 など	
3. 考えを分類ごとに整理する。		・農家の方と交流できることを伝える。 ○考えを整理し、農家の方に聞きたいことをまとめる。 ・グループごとに意見を出し合い、聞きたいことを整理する。	
4. 農家の方と交流する。	25	○農家の方と交流する。 ・Zoomアプリを使用し、各クラスと農家の方をつなぎ、田んぼの様子を見比べたり、農家の方の話を聞いたりさせる。 ・農家の方に、稲のことについて質問をさせる（代表児童）。 ○農家の方と交流して分かったことを、意見交流する。	手立て① （遠隔システム） ◎自分たちの稲と農家の稲を比較し、稲の育ち具合を理解することができる。
4. まとめる。	10	・交流して分かったことを整理させ、話合わせる。 まとめ 稲は、順調に成長していた。しかし、害鳥や害虫の対策をしなければいけない。	
5. 振り返り。	10	○本時の振り返りをさせる。 ・ワークシートに、本時の振り返りをさせる。	

3 学習の様子（遠隔システムを活用した学習の様子）

○互いの米作りについて紹介する場面

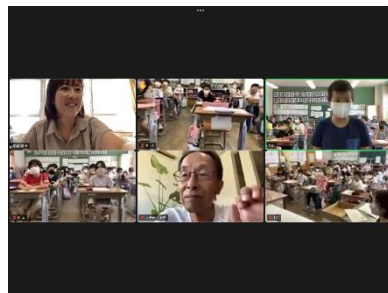


米日誌をクラスごとに紹介する様子



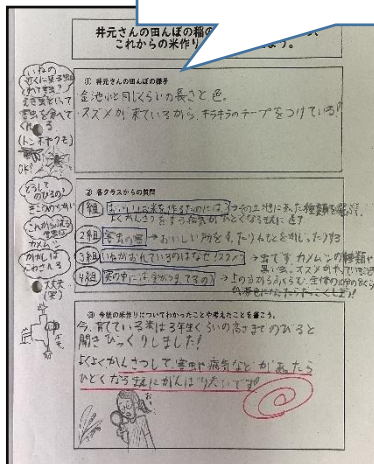
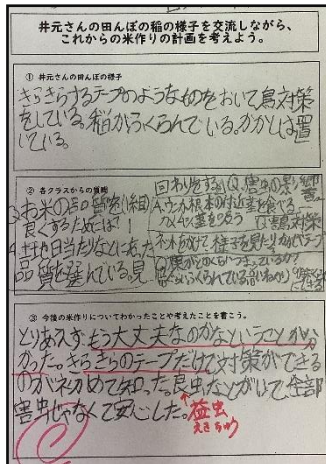
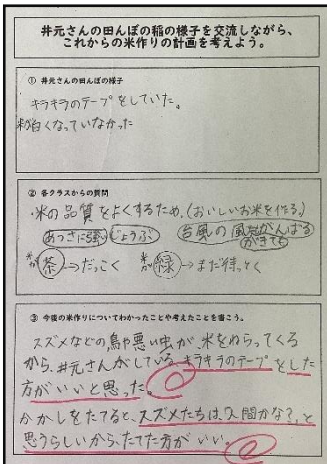
農家の方が実際の稲や田んぼを紹介する様子

○米作りでの困りについて質問する場面



実際の稲や田んぼを紹介する様子

○まとめ・振り返りの場面



児童のワークシート

手立て①()

- ・農家の方との交流。
- ・稲の成長の見比べ。

<有効>

- ・農家の方の稲の様子をリアルタイムで観察できる。
- ・害鳥対策や害獣対策などについて、実際どんな対策をしているのか、見たり聞いたりできる。
- ・今後の米作りについての意見交流ができる。

児童のワークシートの記述例

- ・害鳥対策の方法は1つでないことが分かった。キラキラテープで対策できることも分かった。
- ・害虫には、カメムシもいることが分かった。
- ・井元さんの田はきれいで、稲の穂がしっかりふくらんでいた。
- ・金池小より少し稲の成長が早い気がした。茶色っぽかった。

ICTを活用した授業指導案

令和4年10月27日、11月4・10・15・18日

授業場所 各教室

授業者 新納 景子 各担任

1 単元名 食について考えよう～米作りを通して～

2 本時案

(1) 題材名 お家の方々に米作りを通して学んだことを伝えよう

(2) ねらい 米作りを通して学んだことや自分達の思いを、これまで撮りためた写真や振り返りカード、調べた情報などをもとに共有ノートを活用してまとめることによって、保護者の方に伝えることができるようにする。

(3) 展開 (180分) (17・18・19・20/25)

	学習活動	時	指導上の留意点	評価◎
第1時	1. 本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	10	<p>○本時のめあてを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【めあて】 お家の方々に米作りを通して学んだことを伝えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返らせ、今後の見通しをもたせる。 ・誰に伝えたいかを児童に問い、保護者を発信対象とさせる。 ・教師が発表の見本を提示し、発表するときのポイントを確認させる。(「分かりやすい話し方のポイント」「分かりやすい発表資料のポイント」の資料の掲示) 	
	2. 発表の計画を立てる。	35	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【課題】お家の方々に伝えたい、自分たちの学びは何かな。</p> </div> <p>○プロジェクトごとに、自分たちが学んだことについて考えさせ、発表のテーマを決めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表のテーマについて話合わせる。 ・本番（発表）までの流れを確認し、見通しをもたせる。 ・テーマに沿った資料を集めさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈テーマ例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米作りの苦勞について ・〇〇〇をする時の工夫について ・農家の方の交流から学んだことについて など </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【まとめ】 体験活動や自分たちのプロジェクトを通して学んだこと。この学びをお家の方々に伝えたい。</p> </div>	

◎相手意識や目的意識をもって、話し合っている。(発言・ワークシート)

第 2 時	3. 発表資料を作成する。	45	<p>【課題】 自分たちの思いが伝わる資料を作るには、どんな工夫をすればよいのかな。</p> <p>○プロジェクトごとに、発表に向けて資料作成をさせる。 ・発表する際に使うカードの役割分担をさせ、作成させる。 ・米作りについて初めて聞くお家の方々に伝える内容を考えさせる。 ・今まで撮り溜めてきた写真や振り返りカード、ネットの情報なども活用して良いことを声かけする。 ・前時で教師が提示した発表資料を参考資料として、各プロジェクトの共有シート内に配付しておく。 ・適宜、各プロジェクトの進捗状況を交流させるとともに、それぞれの資料作成の良い所を取り入れさせる。 ・必要に応じて農家に質問できるように、遠隔システムを活用させる。</p> <p>【まとめ】 どのような体験をして、どんなことを学んだのか伝わる発表内容にすればよいか考え、ポイントを意識した発表資料を作ればよい。</p>	<p>手立て① (共有ノート)</p> <p>手立て② (ネット検索)</p> <p>手立て③ (写真)</p> <p>手立て④ (遠隔システム)</p> <p>◎自分の考えの理由や根拠を明確にし、他者と交流し、資料作成をしている。 (発言・発表資料)</p>
第 3 時	4. 発表練習をする。 5. 発表の修正をする。	35 10	<p>【課題】 自分たちの思いが伝わる発表をするには、どんな工夫すればよいのかな。</p> <p>○発表する時のポイントを確認させる。 ・相手に分かりやすく伝えるためのコツとして、資料(各ポイント)を提示し、発表をそれぞれ見合う時の視点をもたせる。 ・教室を2分割し、発表練習を行う。 ※ICT機器配置① ・「発表→アドバイス」の順で発表練習を行わせる。</p> <p>○アドバイスをもとに各プロジェクトに発表を修正させる。 ・当日の場を想起させ、遠くからでもできるだけ伝わりやすい資料や話し方であるかどうかを問い、修正させる。 ・適宜、プロジェクト内でできたら互いに見合う機会をもつよう声掛けをする。</p>	<p>手立て① (共有ノート)</p> <p>◎相手を意識しながら、テーマに沿って発表している。(発表・振り返り)</p>

			<p>【まとめ】 自分たちが必要だと感じたポイントを抑え、伝える相手を意識した発表になるように工夫すればよい。</p>	
第4時	6. 発表する。	30	<p>【めあて】 お家の方に、自分たちの思いが込められた発表をしよう。</p> <p>○プロジェクトごとに、お家の方々に向けて発表させる。</p> <p style="text-align: center;">※ICT機器配置②</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表前に各ポイントを提示し、ポイントを意識した発表ができるよう声掛けをする。 各発表後には、自分達の発表について口頭で振り返りをさせる。 発表を聞いて気付いたことや思ったことを交流させる。 	<p>手立て① (共有ノート)</p> <p>◎相手を意識しながら、テーマに沿って発表している。(発表・振り返り)</p>
	7. お家の方から感想をいただく。	3	<p>○各プロジェクトの発表を見ての感想を聞き、伝えたいことが伝わったのか確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数人のお家の方に感想をいただき、自分達の伝えたいことが伝わったのかを考えさせる。 できたこと、改善点等を確認させ、今後に繋げさせる。 	
	8. 振り返りをする。	12	<p>○本時の振り返りをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の発表や友だちの発表を振り返らせる。 各ポイントが達成できたかチェックさせる。 	

3 学習の流れ

○発表資料の見本



【第1時】

めあての確認

これまでの学習を振り返らせ、学んだことを誰に伝えたいのか、どのようにまとめていくのかについて見通しを立てさせる。

発表に向けての見通しをもつ

研修生がスライドを見せながら発表の見本を示し、どのような発表を目指すのか見通しをもたせる。

○計画を立てる場面



○制作中の場面



○農家の方との交流の場面



発表の計画

プロジェクトごとに、テーマを決め、発表に向けての計画を立てさせる。ワークシート（紙媒体）を活用して、具体的な流れや作成する際の役割分担を行わせる。

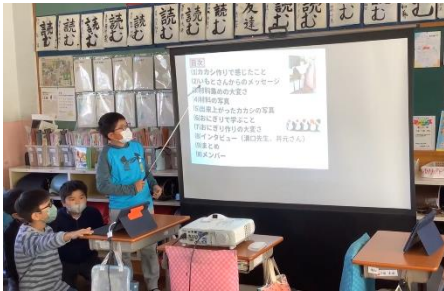
【第2時】

発表資料作成

自分が担当しているカードの作成させる。

<p>手立て① (共有ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの考えの共有 ・考えの交流 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたい思いに合わせ、カード枚数を調節できる。 ・作成したカードの見合いが容易にできる。 ・カードが動かせるので、順序を変更しやすい。 ・カードに写真や画像が挿入できる。 ・配色を考え、自分の考えが分かりやすくなるように工夫できる。 <p>○教師が距離・時間に関係なく、各プロジェクトの進捗状況を確認できる。</p>
<p>手立て② (インターネット検索)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿って情報を収集。 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った情報を収集しやすい。 ・画像の編集が可能。
<p>手立て③ (写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄積された写真の活用。 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード内に取り込むことにより、活動している様子を分かりやすく編集することができる。
<p>手立て④ (遠隔システム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の方との交流 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿って、農家の方に聞きたいことを、距離に制限されることなく、リアルタイムで交流することができる。

○発表練習の場面



【第3時】

発表練習

プロジェクトごとに、各ポイントを意識しながら発表の練習をさせる。

手立て①
(共有ノート)

- ・発表資料の共有

<有効>

- ・自分たちの発表資料がスクリーンに大きく表示されるため、各プロジェクトの発表資料が見やすく、自分たちの思いについて、相手により分かりやすく伝えることができる。
- ・アドバイスをもとに、修正が容易にできる。

○発表の場面



【第4時】

発表

プロジェクトごとに、各ポイントを意識しながら発表をさせる。

手立て①
(共有ノート)

- ・発表資料の共有

<有効>

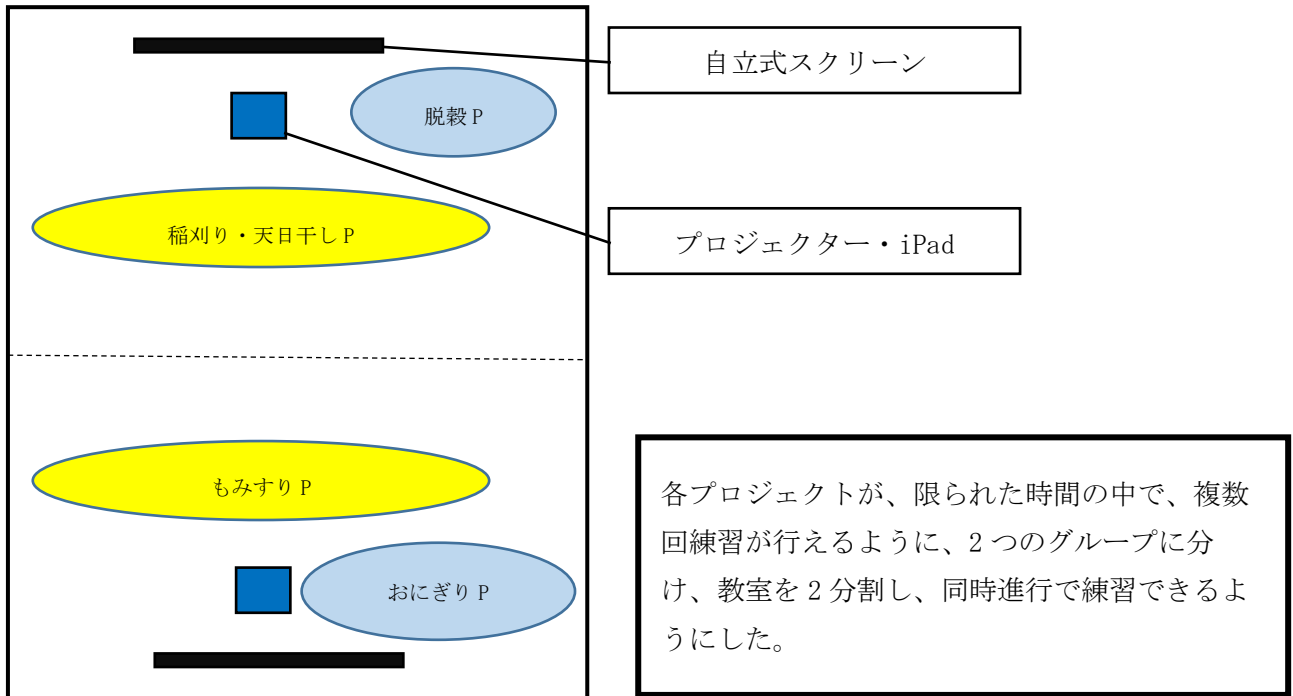
- ・画面共有できることで、操作用、台詞用と機器を使い分けして発表することができる。

○発表資料 (おにぎりプロジェクト)

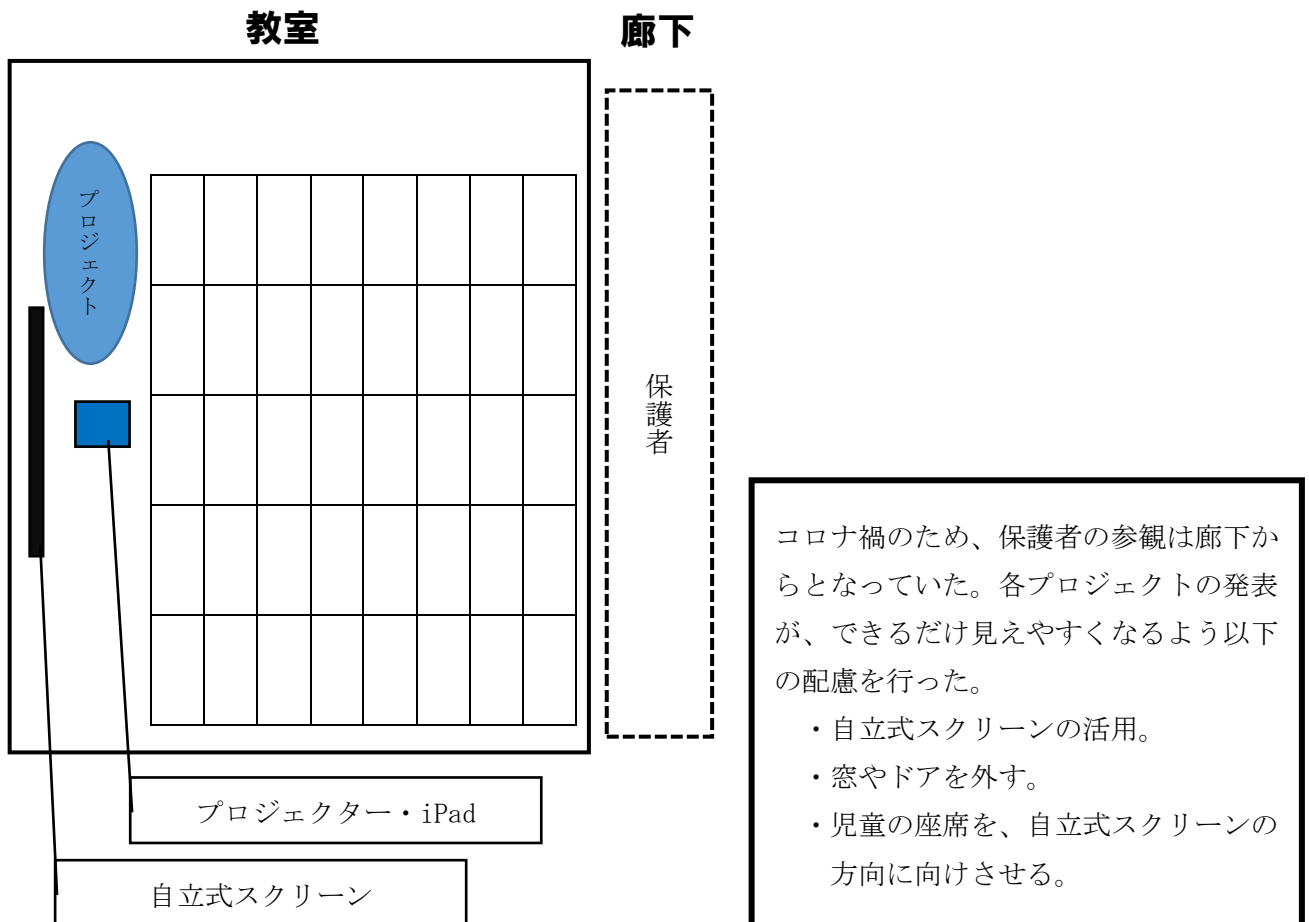


4 ICT機器等配置状況

< ICT機器配置① > (発表練習時)



< ICT機器配置① > (発表時)



ICTを活用した授業指導案

令和4年11月10・15・18・24日

授業場所 各教室

授業者 新納 景子 各担任

1 単元名 食について考えよう～米作りを通して～

2 本時案

(1) 題材名 農家の方に米作りを通して学んだことを伝えよう

(2) ねらい 米作りを通して学んだことや自分達の思いを、これまで撮りためた写真や振り返りカード、調べた情報などをもとに共有シートを活用してまとめることによって、農家の方に伝えることができるようにする。

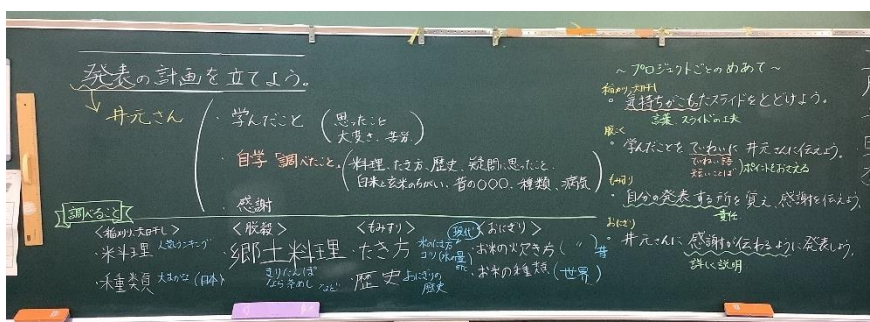
(3) 展開 (180分) (22・23・24・25/25)

時	学習活動	時	指導上の留意点	評価◎
第 1 時	1. 学習のめあてを確認し、見通しをもつ。	10	○小単元のめあてを確認させる。 【めあて】 農家の方に米作りを通して学んだことを伝えよう。	◎相手意識や目的意識をもって、話し合っている。(発言・ワークシート)
	2. 発表の計画を立てる。	35	・お家の方々へ発表したことを振り返らせ、他に伝えたい相手がいるか問い、農家の方を伝える相手とすることを確認させる。 ・前小単元の発表資料をもとに加筆修正を行い、農家の方へ向けた発表ができるよう計画を立てることを説明する。 【課題】農家の方に伝えたい、自分たちの学びは何かな。 ○米作りを通して自分たちが興味をもったことについて考えさせ、発表のテーマを考えさせる。 ・プロジェクトごとに発表のテーマについて話合わせる。 ・本番（発表）までの流れを確認し、テーマに沿った資料を集めさせる。 〈追加のテーマ例〉 ・米の歴史について ・米を使った料理について ・米の種類について など 【まとめ】 プロジェクトを通しての学びやテーマに沿った調べ学習での米に関する学びを伝えたい。	

第 2 時	3. 発表資料を作成する。	45	<p>【課題】 自分達の思いが伝わる資料を作るには、どんな工夫をすればよいのかな。</p> <p>○資料作成の工夫を話合わせ、プロジェクトごとに、発表に向けて資料作成させる。</p> <p>〈工夫の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを意識しながら資料を作る。 ・写真を拡大できるように準備する など <p>・テーマに沿って調べたことまとめるだけでなく、その内容に自分達の思いを込めるよう声かけを行う。</p> <p>・発表する際に使うカードの役割分担をさせ、作成させる。</p> <p>・今まで撮り溜めてきた写真や振り返りカード、ネットの情報なども活用して良いことを声かけする。</p> <p>・適宜、各プロジェクトの進捗状況を交流させるとともに、それぞれの資料作成の良い所を取り入れさせる。</p> <p>【まとめ】 自分達に必要なポイントを意識した資料作成（写真、文字など）をすることで工夫すればよい。</p>	<p>手立て① (共有ノート)</p> <p>手立て② (ネット検索)</p> <p>手立て③ (写真)</p> <p>◎自分の考えの理由や根拠を明確にし、他者と交流し、資料作成をしている。(発言・発表資料)</p>
第 3 時	4. 発表練習をする。 5. 発表の修正をする。	35 10	<p>【課題】 自分達の思いが伝わる発表をするには、どんな工夫をすればよいのかな。</p> <p>○発表する時のポイントを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かりやすく伝えるための工夫として、資料（各ポイント）を提示し、発表をそれぞれ見合う時の視点をもたせる。 ・教室を2分割し、発表練習をさせる。※ICT機器配置① ・「発表→アドバイス」の順で発表練習を行わせる。 <p>○アドバイスをもとに、それぞれで発表の修正をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の発表をイメージさせ、遠くからでもできるだけ伝わりやすい資料や話し方であるかどうかを問い、修正させる。 ・適宜、プロジェクト内で互いに見合う機会をもつよう声掛けをする。 	<p>手立て① (共有ノート)</p> <p>◎相手を意識しながら、テーマに沿って発表している。(発表・振り返り)</p>

			<p>【まとめ】 自分達に必要なポイント（思いが伝わる内容になっているのか など）を意識した発表になるよう、工夫すればよい。</p>	
第4時	6. 発表する。	30	<p>【めあて】 農家の方に、自分達の思いが込められた発表をしよう。</p> <p>○プロジェクトごとに、農家の方に向けて発表させる。</p> <p style="text-align: center;">※ICT機器配置②</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表前に各ポイントを提示し、ポイントを意識した発表ができるよう声掛けをする。 各発表後には、自分達の発表について口頭で振り返りをさせる。 発表を聞いて気付いたことや思ったことを交流させる。 	<p>手立て① (共有ノート)</p>
	7. 農家の方から感想をいただく。	3	<p>○各プロジェクトの発表を見ての感想を聞き、伝えたいことが伝わったのか確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家の方から感想をいただき、自分達の伝えたいことが伝わったのかを考えさせる。 できたこと、改善点等を確認させる。 	<p>◎相手を意識しながら、テーマに沿って発表している。 (発表・振り返り)</p>
	8. 振り返りをする。	12	<p>○本時の振り返りをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の発表や友だちの発表を振り返らせる。 各ポイントが達成できたかチェックさせる。 	

3 学習の流れ



【第1時】

めあての確認

これまでの学習を振り返らせ、学んだことを誰に伝えたいのか、どのようにまとめていくのかについて見通しを立てた。



発表内容の計画立て

プロジェクトごとに、発表の計画を立てさせる。ワークシートを活用して、具体的な流れや作成する際の役割分担を行わせる。

○制作中の場面



【第2時】

発表資料作成

自分が担当しているカードを作成させる。

<p>手立て① (共有ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの考えの共有 考えの交流 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が伝えたい思いに合わせ、カード枚数を調節できる。 作成したカードの見合いが容易にできる。 カードが動かせるので、順序を変更しやすい。 カードに写真や画像が挿入できる。 配色を考え、自分の考えが分かりやすくなるように工夫できる。 <p>○教師が距離・時間に関係なく、各プロジェクトの進捗状況を確認できる。</p>
<p>手立て② (インターネット検索)</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマに沿って情報を収集。 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> テーマに沿った情報を収集しやすい。 画像の編集が可能。
<p>手立て③ (写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄積された写真の活用。 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> カード内に取り込むことにより、活動している様子を分かりやすく編集することができる。

○発表練習の場面



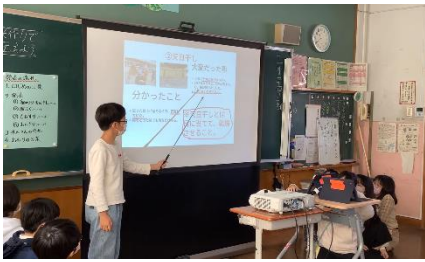
【第3時】

発表練習

プロジェクトごとに発表練習を行い、各ポイントを意識しながら発表の練習をさせる。

<p>手立て① (拡大提示・共有ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表資料の共有 	<p><有効></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの発表資料がスクリーンに大きく表示されるため、各プロジェクトの発表資料が見やすく、自分たちの思いについて、相手により分かりやすく伝えることができる。 アドバイスをもとに、修正が容易にできる。
---	--

○発表の場面



【第4時】

発表

プロジェクトごとに、各ポイントを意識しながら発表をさせる。

手立て①
(共有ノート)

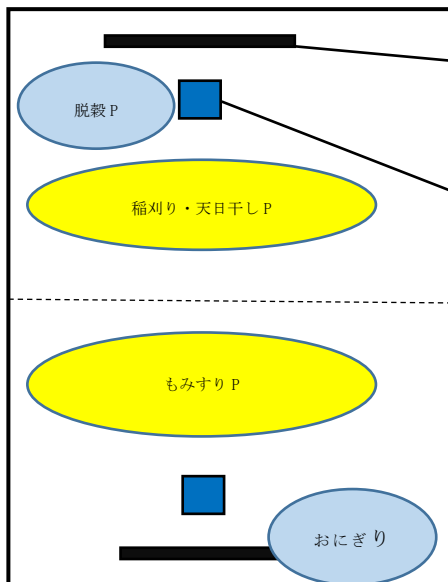
- ・発表資料の共有

<有効>

- ・画面共有できることで、操作、台詞用と機器を使い分けして発表することができる。

4 ICT機器等配置状況

<ICT機器配置①> (発表練習時)

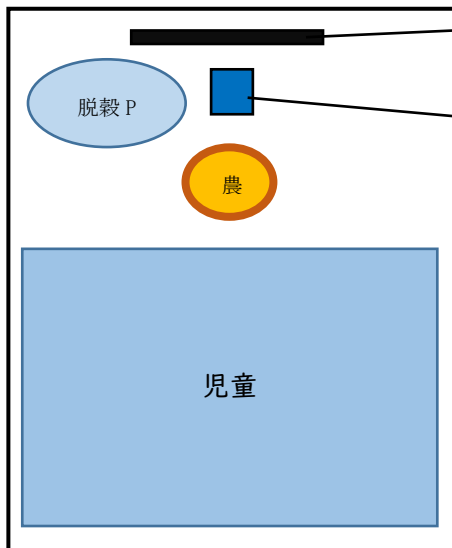


自立式スクリーン

プロジェクター・

各プロジェクトが、限られた時間の中で、複数回練習が行えるように、2つのグループに分け、教室を2分割し、同時進行で練習できるようにした。

<ICT機器配置①> (発表時)



自立式スクリーン

プロジェクター・iPad

各プロジェクトの発表が、できるだけ見えやすくなるよう以下の配慮を行った。

- ・自立式スクリーンの活用。
- ・児童の座席を、全体的に若干後方に配置し、自立式スクリーン方向に向けさせる。
- ・農家の方は、発表が見えやすいようスクリーン正面に座ってもらう。